

～医療生協健文会の職員のみなさま～

# メロス通信 号外編

## ありがとう ございました



今年もたくさんの品々が集まりました！  
みなさま、ご協力をどうもありがとうございます

お届けして下さった品々が誰の笑顔に変わったのか少し  
だけご紹介します。

組合員さんの定例の食料支援では、子育て中のお母さんが数名ほどお越しになるようになりました。

子どもを育てることは大変厳しくなっています。子ども用の品物はそんな家庭に届けられることになりました。そして一部の玩具は『たんぽぽ』の利用者にご使用していただくことになりました。



リンゴの物語り

物価高騰によりフードバンクに届く食料さえ少なくなっています。さらにフードバンクには美味しさや満足感を求めることができません。「私たちには美味しいものを食べる少しの喜びすら許されない」と言われた方がいます。とても美味しそうなリンゴを届けられた数ほど、まさに今人生の苦難をむかえている方にお届けしました。ひとりで乗り越えることができなかつた苦難を健文会のつながりのなかで乗り越えようとしている方々です。「美味しいリンゴが手に入ったので少しですがお届けに上がりました。どのようにお過ごしですか」こんな言葉がけだけですが、みなさんにとっても喜んでいただけます。ちょっとした贅沢と真心をお届けすることができました。



日用雑貨が買えない！！！！

制度の狭間でどうしようもない方がいらっしゃいます。何とか生活保護やその他の制度につなげようと弁護士にも協力してもらっていますが直ぐに解決する方法が見つかりません。私たちに必要なのは食料だけではありません。最近よくスーパーでトイレトペーパーを取っていかないよう警告する張り紙をよく目にしますが、お金がない（＝社会保障制度が不十分）ということがここまでも苦しいことなのかと憤りを感じることがあります。「食器用洗剤を石鹼やシャンプー代わりにしていた」「トイレトペーパーがない」「お金がなくて婦人科に行けず不正出血が続いている」「窃盗でもして刑務所に行くしかないぐらい何も無い」そんな言葉を聞いて心を痛めています。写真はある方にお届けしたセットです。

